

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立成瀬高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、経営企画室長、教務部主任（事務局長） 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務部主任）、主幹教諭（生活指導部主任）、
主幹教諭（進路指導部主任）、主任教諭（1学年主任）、主幹教諭（2学年主任）、
主幹教諭（3学年主任）、主任教諭（保健部主任）、
主任教諭（探究研修部主任） 計11名
- (4) 協議委員の構成
近隣警察署及び消防署関係者2名、近隣青少年委員1名、近隣自治会長1名、
近隣中学校長2名、学識者2名、PTA会長1名 計9名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和6年6月26日（水）午後4時から午後5時 本校会議室

内部委員11名、協議委員7名

委員紹介、令和5年度学校経営報告、令和6年度学校経営計画、本校の現状と課題等、
意見交換

第2回 令和6年10月30日（水）午後4時から午後5時 本校会議室

内部委員11名、協議委員9名

本校の現状と課題等、令和6年度学校評価アンケート確認、意見交換

第3回 令和7年2月12日（水）午後4時から午後5時 本校第一講義室

内部委員12名、協議委員7名

本校の現状と課題等、令和6年度学校評価アンケート結果確認、意見交換

- (2) 評価委員会（第1～2回）の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回 令和6年10月30日（水）午後3時30分から午後3時50分

内部委員5名、協議委員3名

令和6年度学校評価アンケート項目検討、意見交換

第2回 令和7年2月12日（水）午後3時30分から午後3時50分

内部委員5名、協議委員3名

令和6年度学校評価アンケート結果分析・検討、意見交換

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

「学校生活の満足度」「学校改革の方向性」「生徒の学習意欲」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

実施時期：11月初旬から12月中旬

対象：生徒 745人/820人（回収率90.8%）

保護者 297人/820人（回収率36.5%）

教職員 51人/51人（回収率100%）

地域 15人

(3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、施設、生徒指導、進路指導、広報等。

(4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）

- ・生徒の学校満足度：1年生85.4%、2年生89.8%、3年生80.3%。
2, は昨年度から大幅に増加している。学校行事ができていることが一因である。
- ・保護者の満足度：86.8%
- ・家庭学習時間：①3時間以上、②2～3時間、③1～2時間、④1時間未満
1学年：①2.6%、②6.5%、③41.7%、④49.0%
2学年：①2.2%、②14.7%、③36.2%、④46.7%
3学年：①60.2%、②11.8%、③18.2%、④9.5%。
2学年後半までに、家庭学習の習慣を着実につけていくことが今後の課題である。
- ・進路指導については、概ね肯定的（生徒84.5%、保護者82.6%）であるが、更なる学力の向上、進路実績が今後の課題である。
- ・生活指導については、概ね肯定的（生徒87.9%、保護者89.7%）であるが、教職員の肯定的意見が62.7%「十分である」は5名であり、意識の違いがある。他の教員の指導について不満があることが一因と考えられる。
- ・「総合的な探究の時間」については、1学年の生徒は90.8%以上が肯定的であるが、学年が上がるにつれて、肯定的意見が85.2% 87.6%まで減少している。ここでも教職員の肯定的意見が62.7%と最も低い。探究研修部に任せたままになっていないか検証が必要である。
- ・部活動については、生徒73.0%、保護者67.2%が積極的参加・充実と評価している。教職員も66.6%であり、ほぼ同じである。
- ・生徒の88.1%が、教員を悩みや相談の相手としてとらえている。
- ・ライフワークバランスの取組に対する教職員の肯定的評価は、48.1%と今年度も半数に満たなかった。
- ・生徒、保護者の結果と教職員の結果がかけ離れている項目が複数あった。更に生徒理解、保護者理解に努めなければならない。
- ・学校行事をコロナ禍以前に近い状態で実施できたことが高評価に繋がっている。
- ・成瀬高校に入学して／させて、良かったかについては、肯定的意見は86.7%であり、かなり良好である。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・学校評価アンケート結果を分析し、学校改善への取組に向け助言を得ることができた。
- ・多くの協議委員の皆様にご来校いただき開催することができた。直接対話することにより、本校の取り組みや成果と課題について、保護者、地域と共有することができた。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・学校行事を実施することの意義。
- ・家庭学習の習慣化、学校と家庭との連携体制の強化。
- ・近隣地域との結びつき、連携、協働の必要性の再認識。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・学校行事を安全、安心に実施することと、その公開、発信方法。
- ・本校の生活指導について継続しながら向上を図り、学校が安全で安心な居場所であり続けられるよう努力を続けていく。

(2) 学習指導

- ・自主的な家庭学習時間の増加およびその習慣化。
- ・主体的・対話的な深い学びを実践していき、生徒の自己実現を支援する。

(3) 特別活動

- ・体育祭、文化祭、合唱祭、修学旅行等の学校行事を実施し、生徒の自主性を伸ばし、達成感を醸成する。

(4) 生活指導と安全指導

- ・近隣の警察及び市役所等の外部との連携を含めた交通安全指導キャンペーンを定期的に行い、交通安全指導の徹底を引き続き図る。高校生として身に付けておくモラルやマナーについて、SNSルールを活用しながら全ての教職員の連携の下、組織的に指導を行う。
- ・自転車通学者のヘルメット着用、交通ルール遵守を強く指導する。
- ・ホームルーム活動や学校行事に生徒が主体的に取り組む素養を構築し、望ましい人間関係の構築、人権意識の醸成、協調性や協働意識を育む指導を推進し、いじめの防止の徹底を図る。さらに、これらの活動を通して命の尊厳を学び、自殺対策に資する教育の推進を図る。

(5) 進路指導

- ・学年との連携強化を図り、進路指導部を中心とした進路指導を組織的に推進する。また、生徒の進路分析（進路指導分析会の実施）を通して、生徒の課題を早期に発見し、改善策を講じて生徒の希望進路の実現を図る。拡大進路部会を開催して、学年進路担当と情報を共有し、進路指導を学校全体で推進する。

6 協議委員からの評価

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数 7人（第3回学校運営連絡協議会に出席した協議委員9人の回答）

そう思う	ややそう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない（判断材料が乏しい）	無回答
7	2	0	0	0	0	0

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人